

追加集計結果について

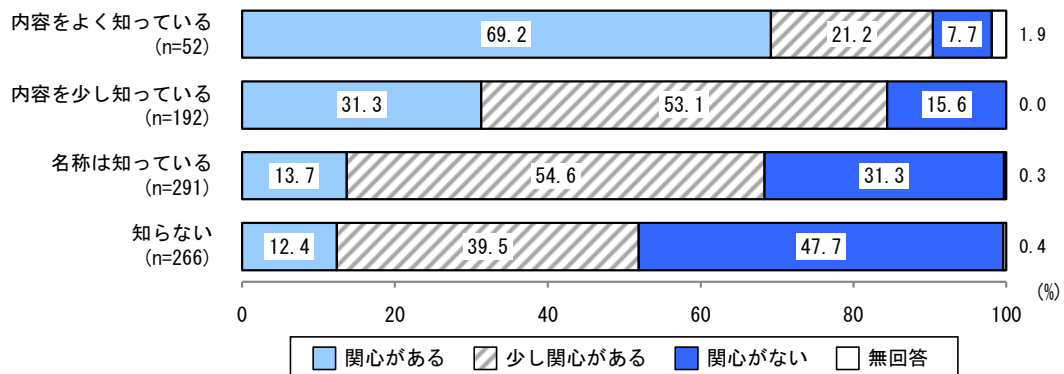
① 同和問題の関心度と部落差別解消法の認知度との関連について

【ご質問】

同和問題に対する関心度は高く、(部落差別解消法)を「知っている」との回答が9割近くであることとの関連を分析する必要がある。

(精華町において、同和問題は知ってはいるが、関心がない率が高い。)

部落差別解消法を知っているほど、同和問題への関心が高いことが結果から示されていますが、因果関係として逆の可能性もあります。(同和問題への関心が高いため、部落差別解消法を知っている)



② 旧同和地区出身者との結婚に関する経年比較

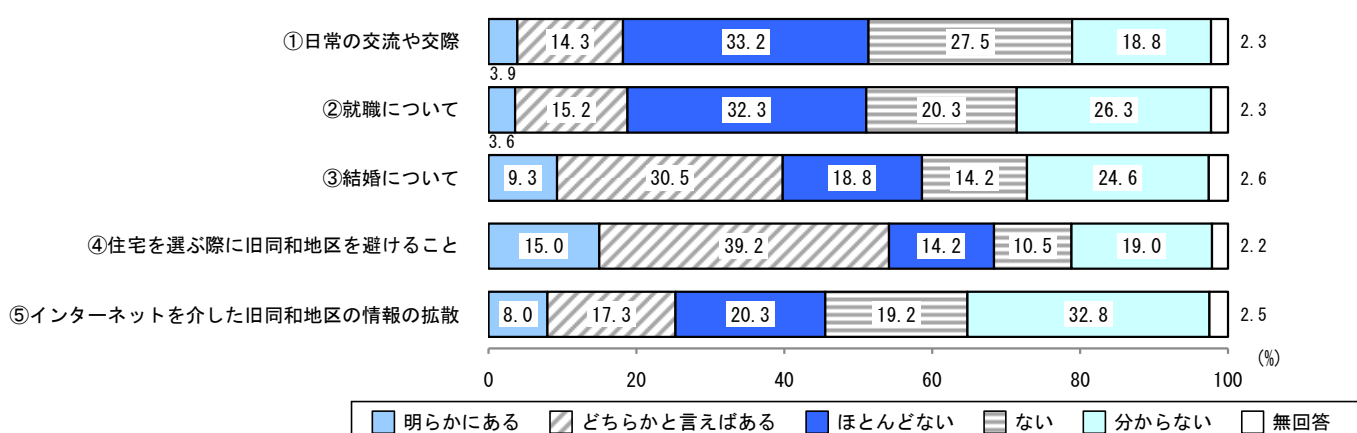
【ご質問】

③結婚について、④旧同和地区を避けることの2項目の割合が依然として高いと感じる。前回調査（H27）との経年比較を知りたい。

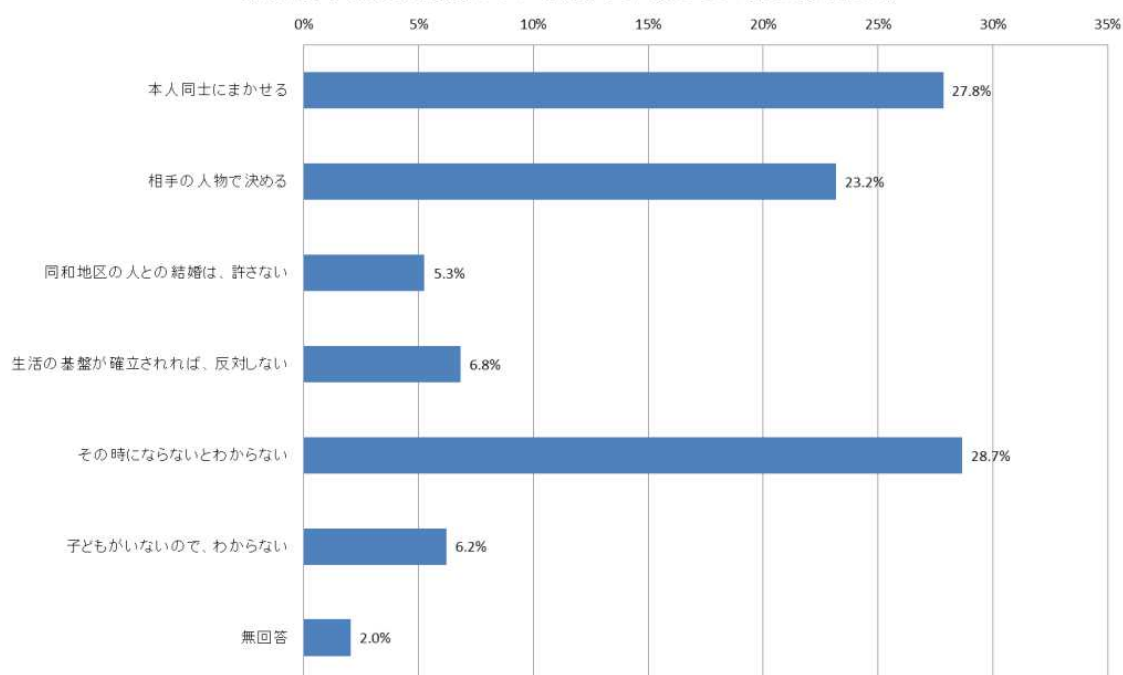
前回とは設問が異なるため、経年比較ができませんが、結婚で部落差別が『ない』（「ほとんどない」と「ない」）は33.0%に対し、お子さんが同和地区出身の人と結婚する場合に「本人同士にまかせる」と回答した人は27.8%となっています。

【あなたは次のことについて、部落差別があると思いますか。】

(n=775)



問8. お子さんの結婚について(問4で「知っている」と答えた人)



③ 学習経験による影響

【ご質問】

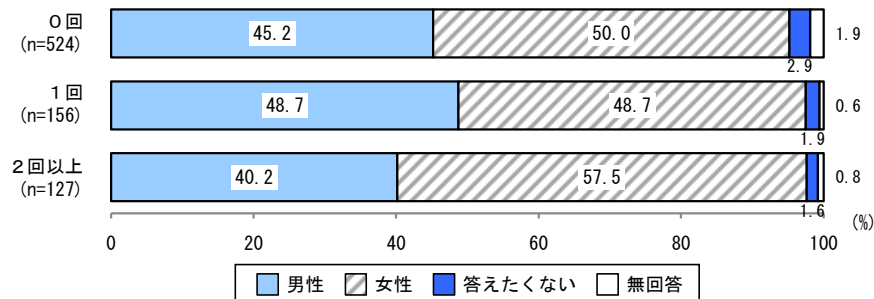
問 22 の人権研修会等への参加頻度によってどのような効果があるかを把握し、今後の研修に役立たせるべき。

人権研修等への参加頻度が高い人、参加していない人の属性については、次の通りです。

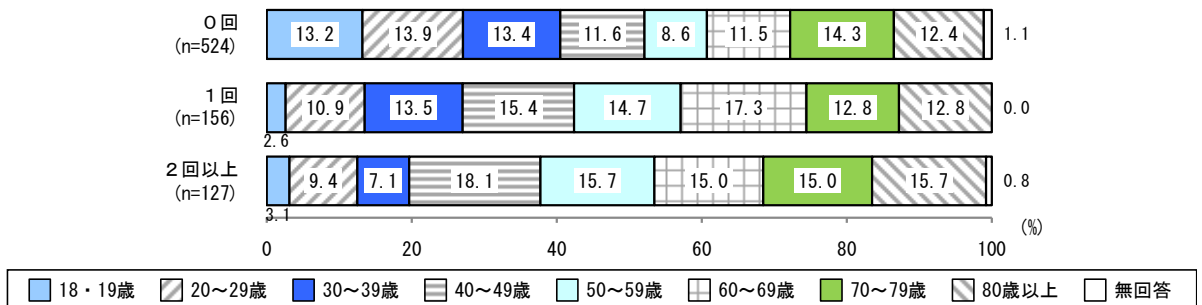
人権研修等への参加が2回以上の人は、性別が「女性」、年齢が「60歳以上」、「川西小学校区」に住んでいる割合がやや高くなっています。

人権研修等への参加が0回の人は、年齢が「18・19歳」、「学生」の割合がやや高くなっています。

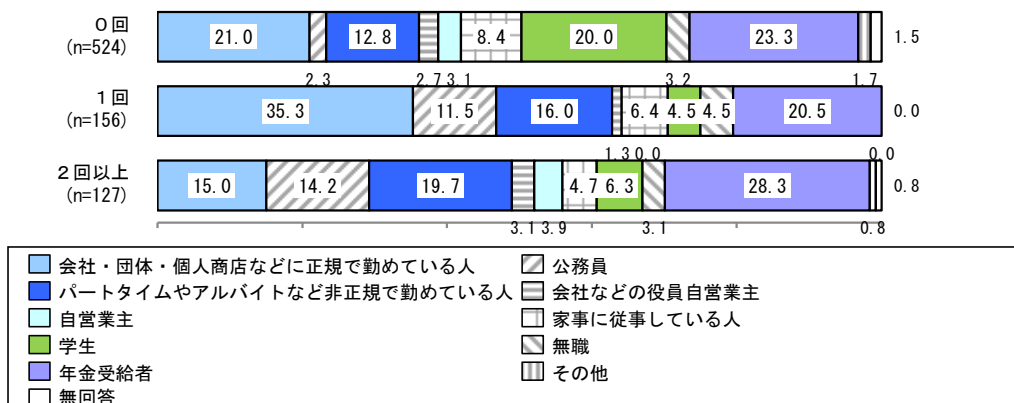
■性別



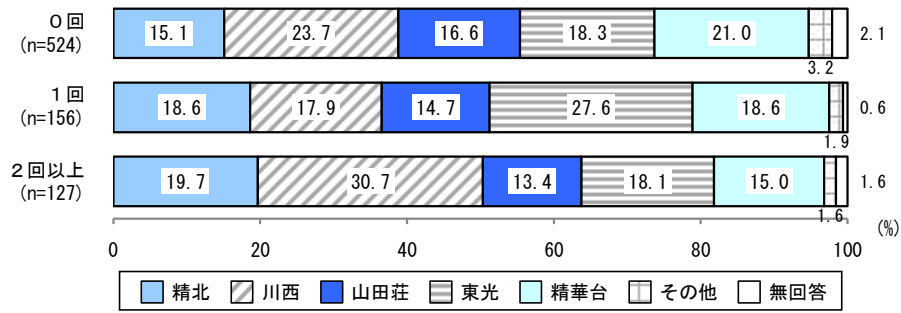
■年齢



■職業



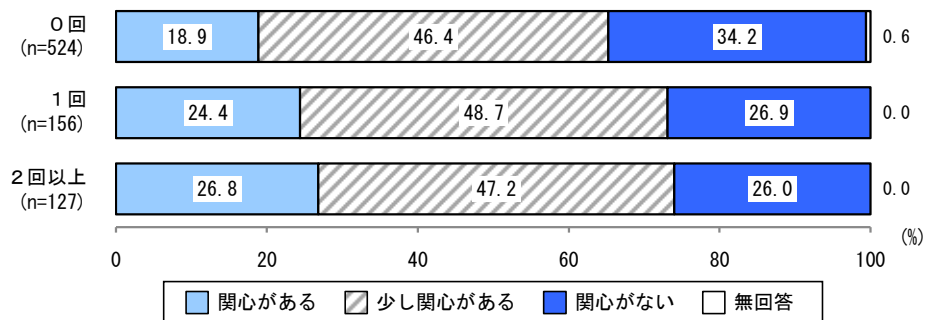
■居住地域(小学校区)



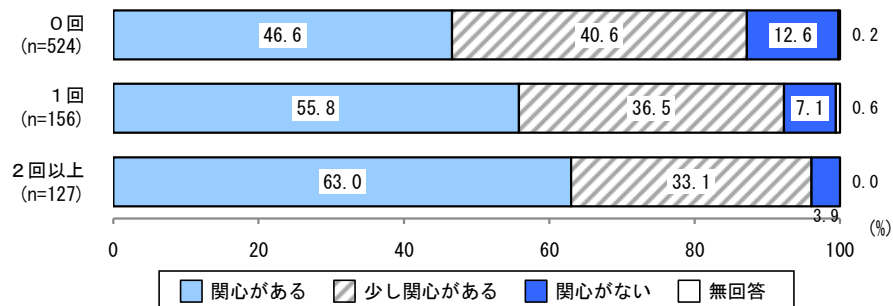
問1 人権問題に対する関心度

「①部落差別(同和問題)」「②女性の人権」「④高齢者の人権」「⑩LGBT等、性的少数者の人権」は、参加回数が多いほど「関心がある」が増加しています。

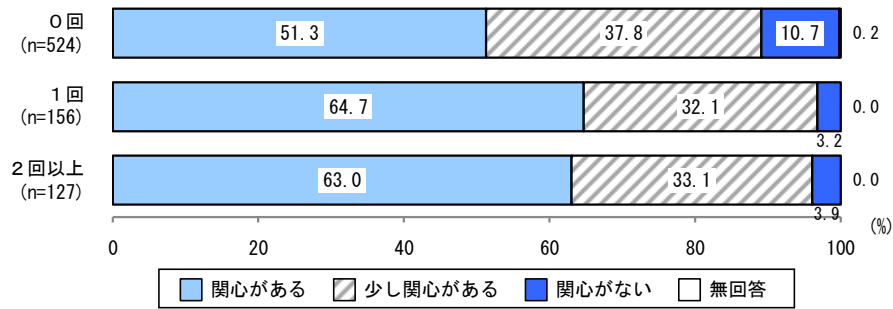
① 部落差別(同和問題)



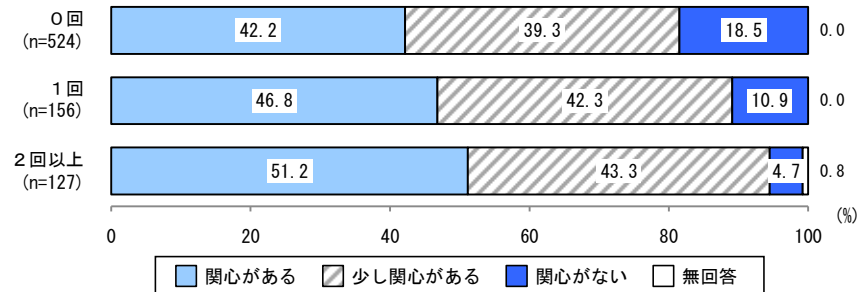
② 女性の人権



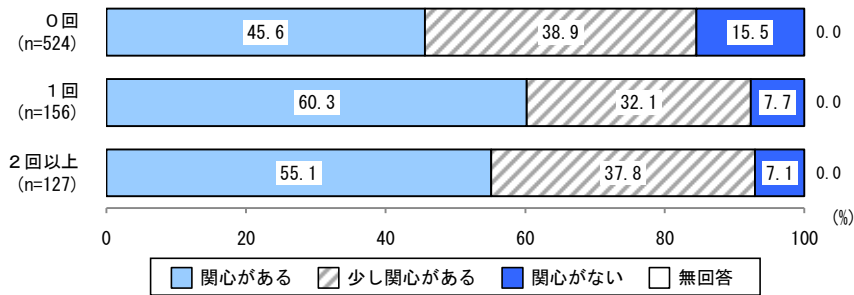
③ こどもの人権



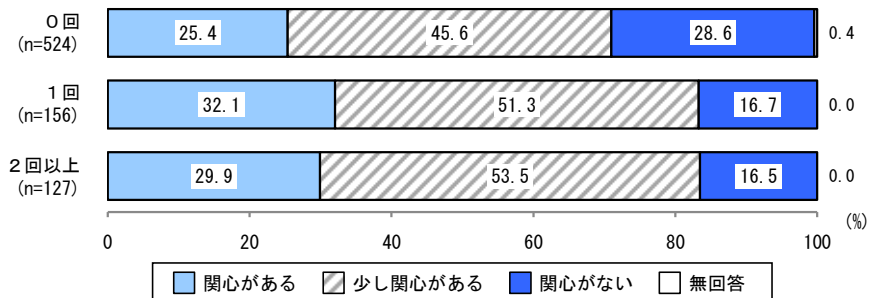
④ 高齢者の人権



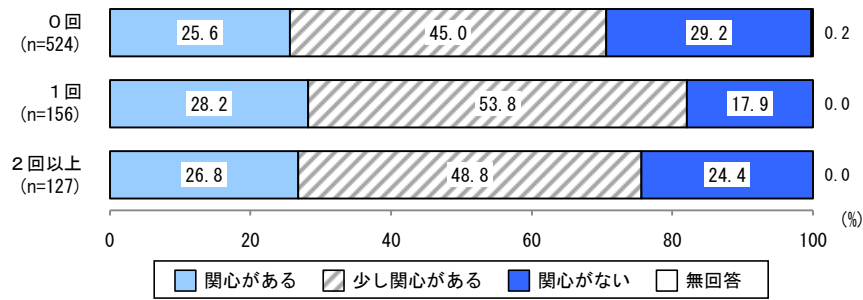
⑤ 障害のある人の人権



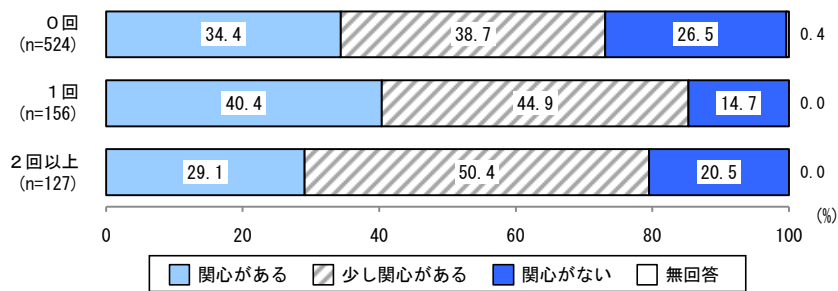
⑥ 外国人の人権



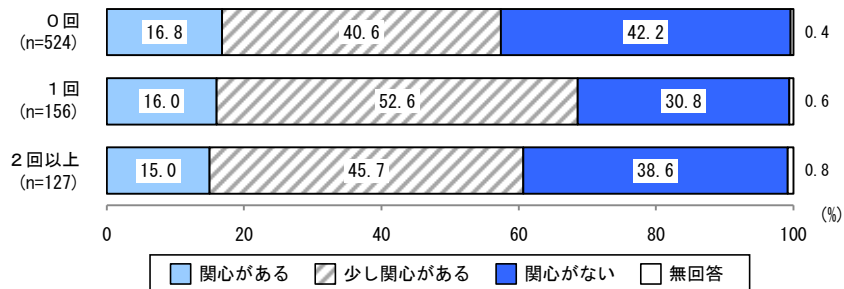
⑦ ハンセン病・HIV 感染症・難病患者の人権



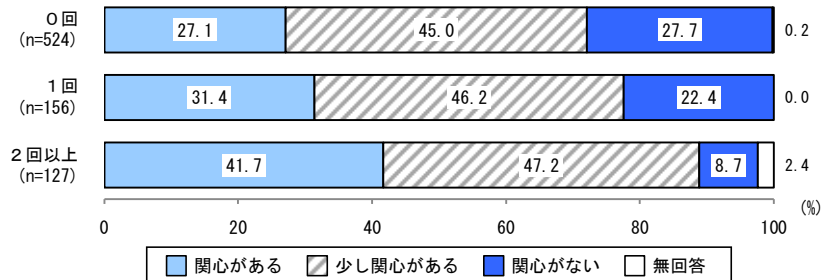
⑧ 犯罪被害者等の人権



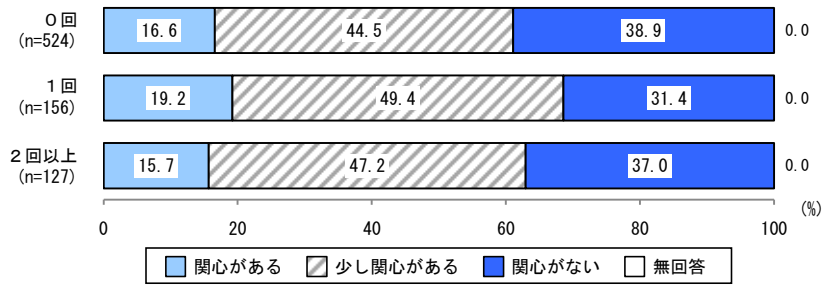
⑨ ホームレスの人権



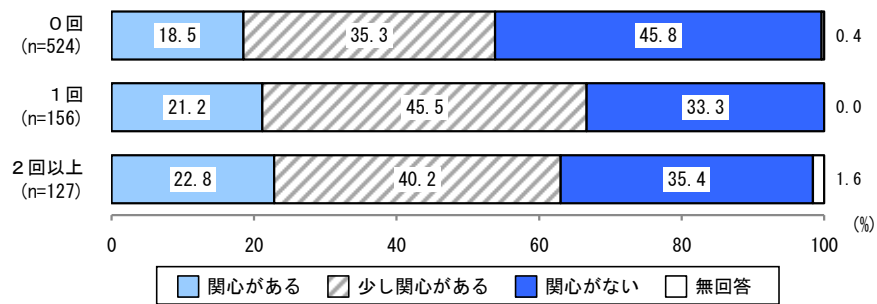
⑩ LGBTQ 等、性的少数者の人権



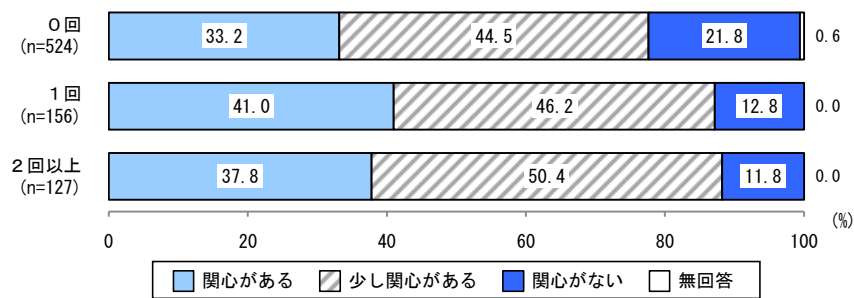
⑪ 刑を終えて出所した人の人権



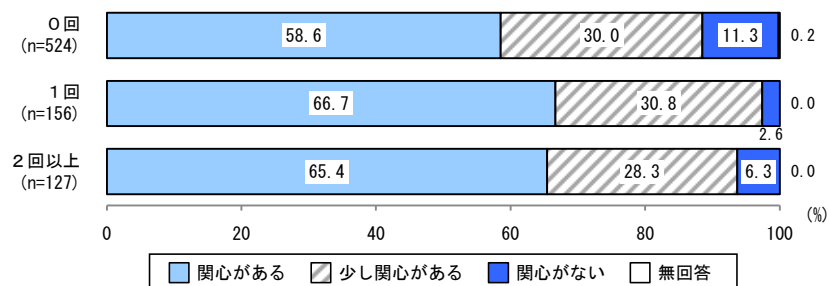
⑫ 刑を終えて出所した人の人権



⑬ 北朝鮮当局による拉致被害者等の人権



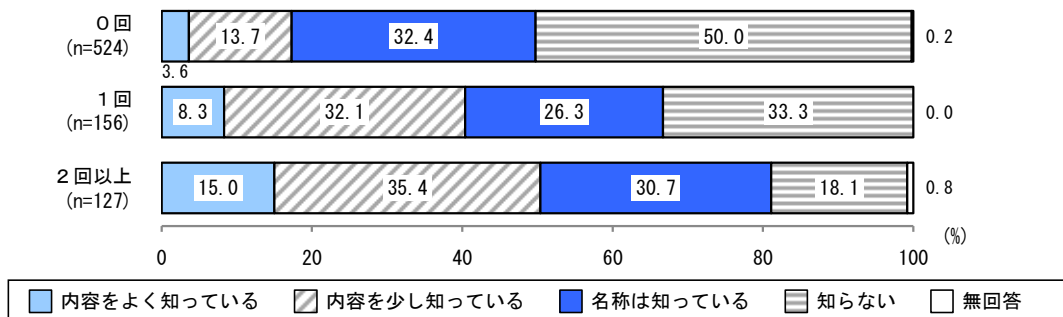
⑭ インターネットによる人権



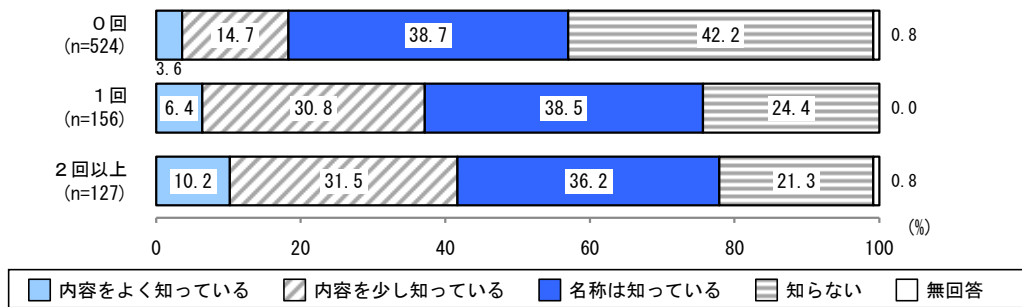
問3 人権に関する法律等について

ほとんどの法律等で、参加回数が多いほど「関心がある」が増加しています。

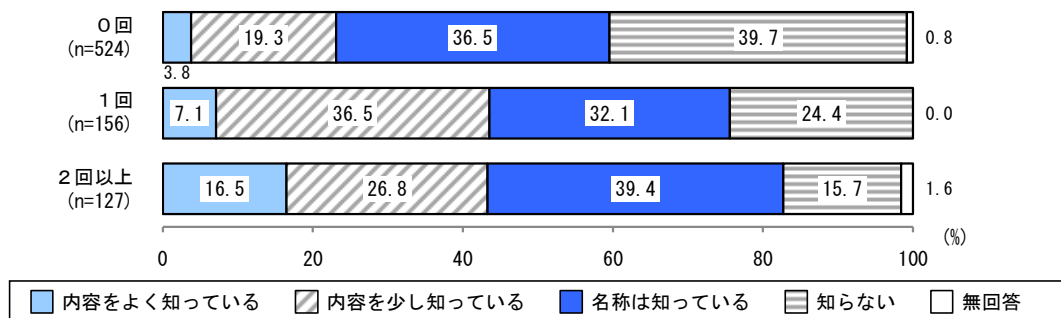
① 障害者差別解消法



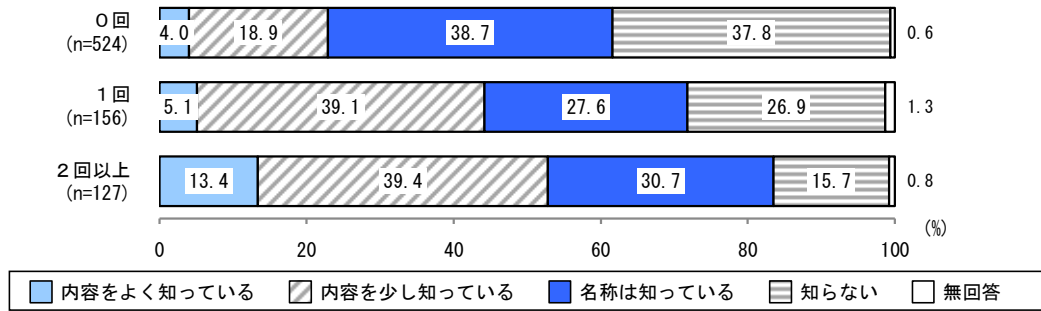
② ヘイトスピーチ解消法



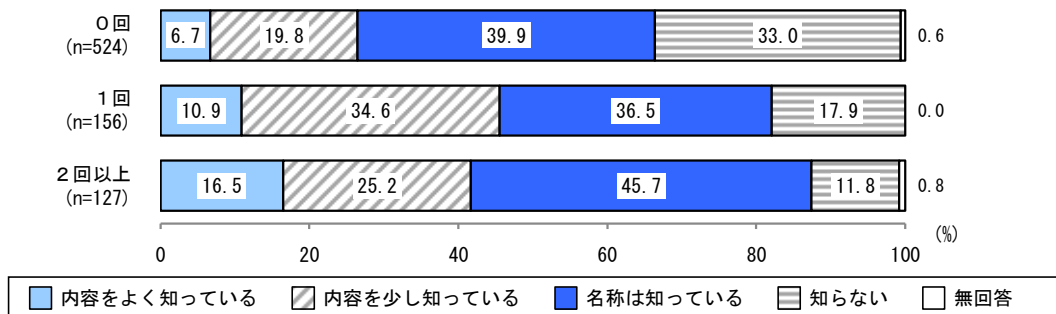
③ 部落差別解消法



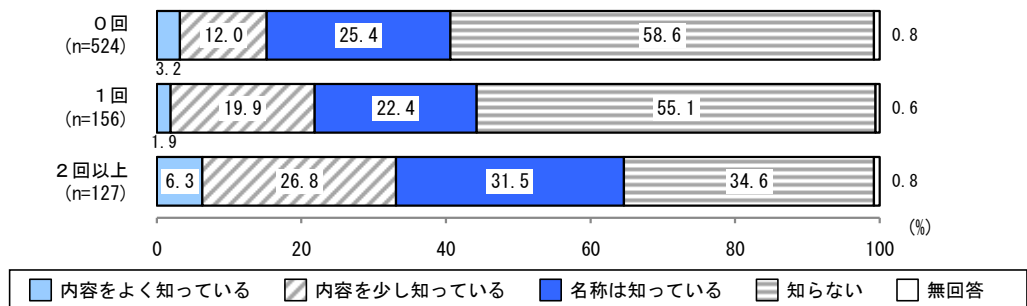
④ LGBT 理解推進法



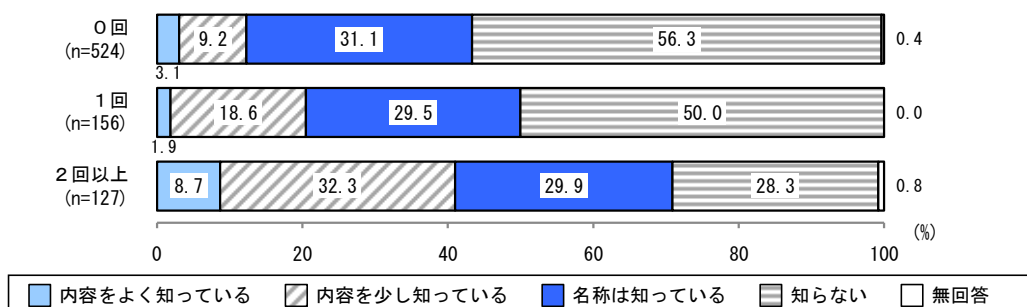
⑤ こども基本法



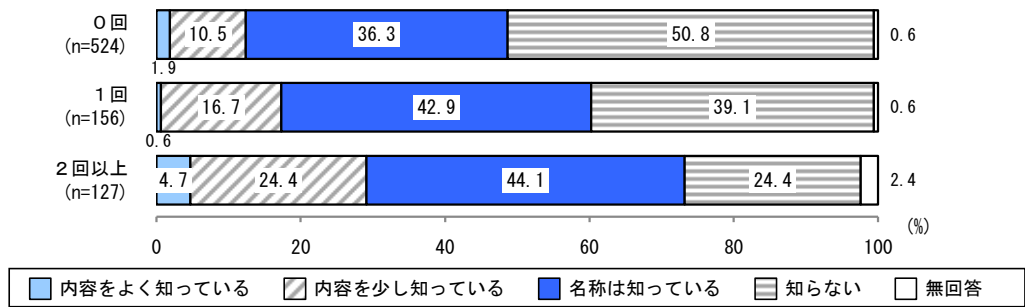
⑥ 困難な問題を抱える女性の支援に関する法律



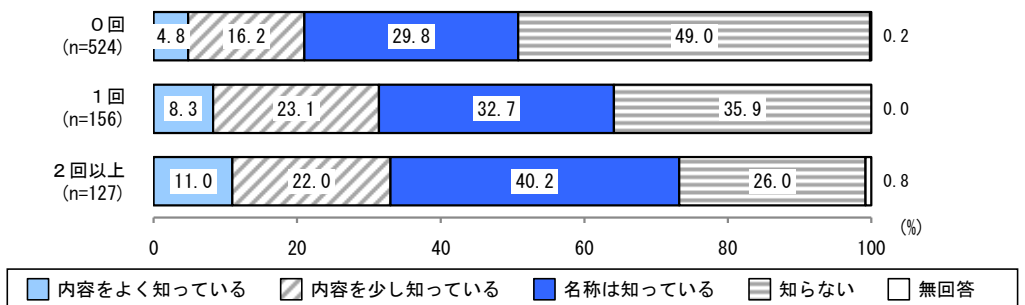
⑦ 認知症基本法



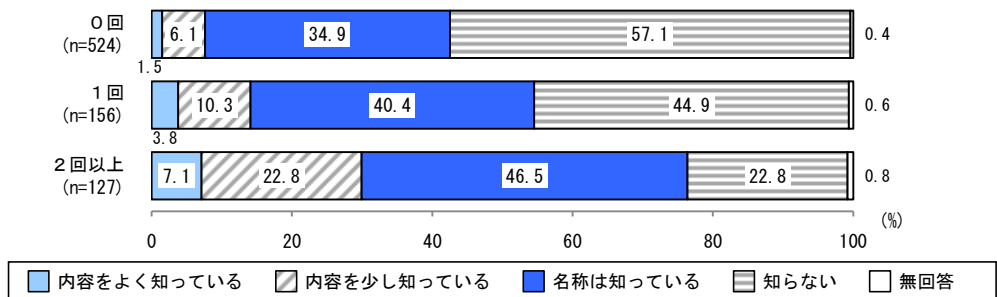
⑧ ハンセン病問題基本法



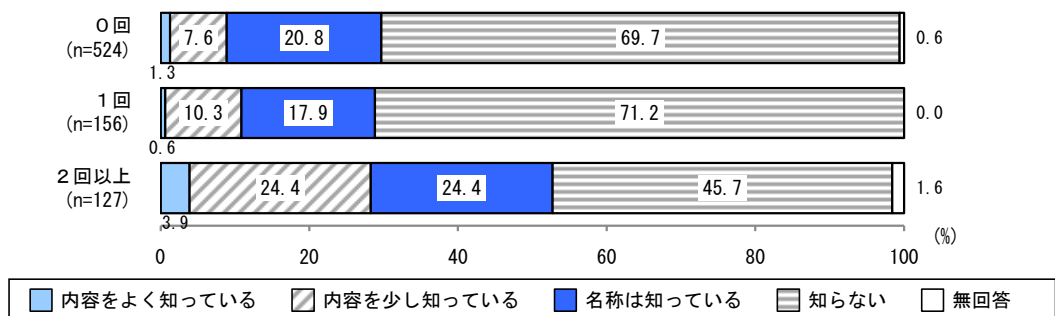
⑨ 本人通知制度



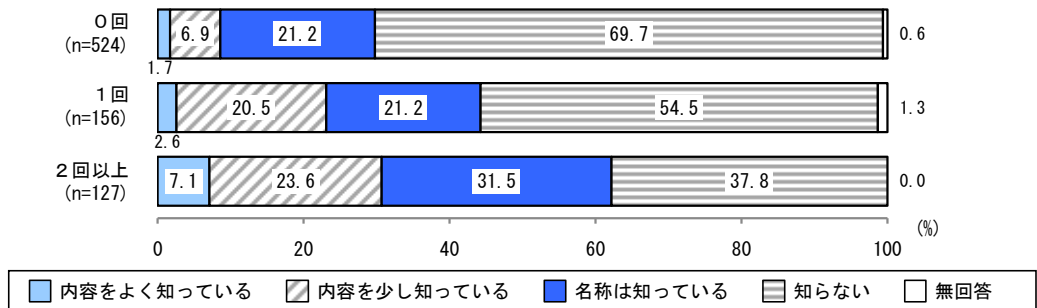
⑩ 精華町人権教育・啓発推進計画



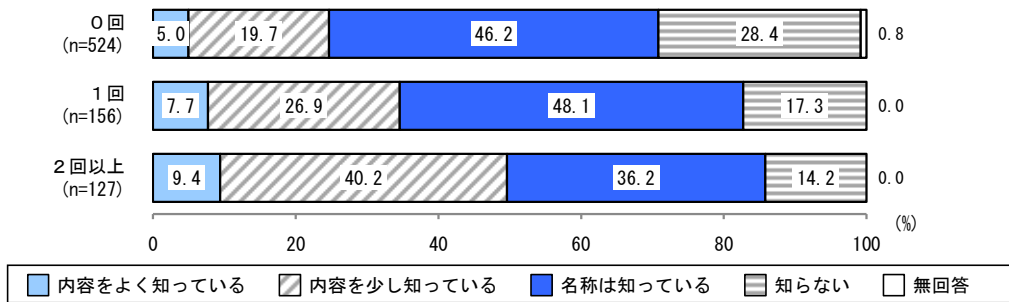
⑪ 情報流通プラットフォーム対処法



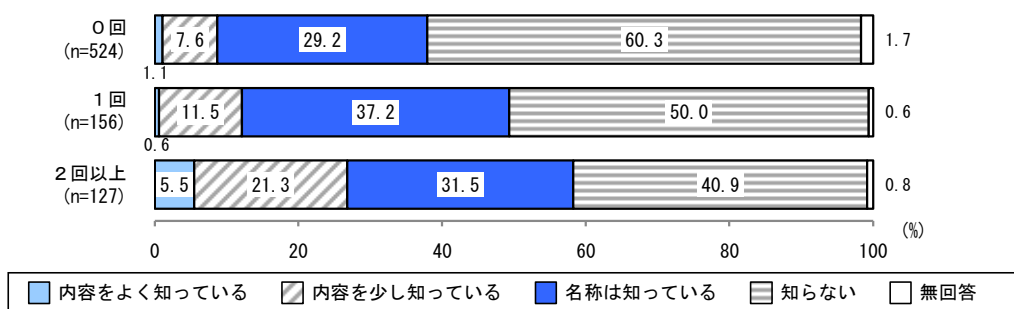
⑫ 同和対策審議会答申



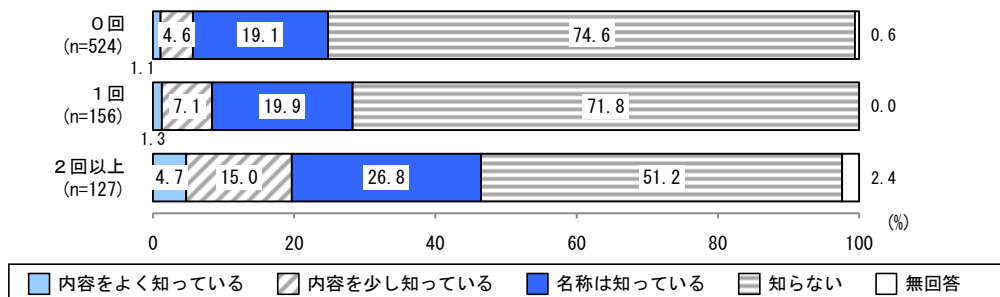
⑬ いじめ防止対策推進法



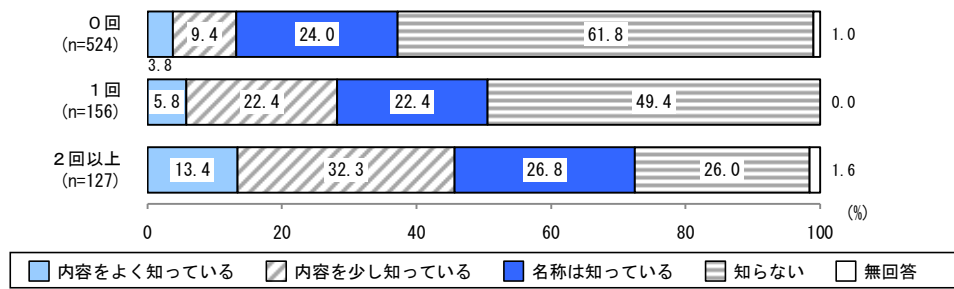
⑭ 改正更生保護法



⑮ 孤独・孤立対策推進法

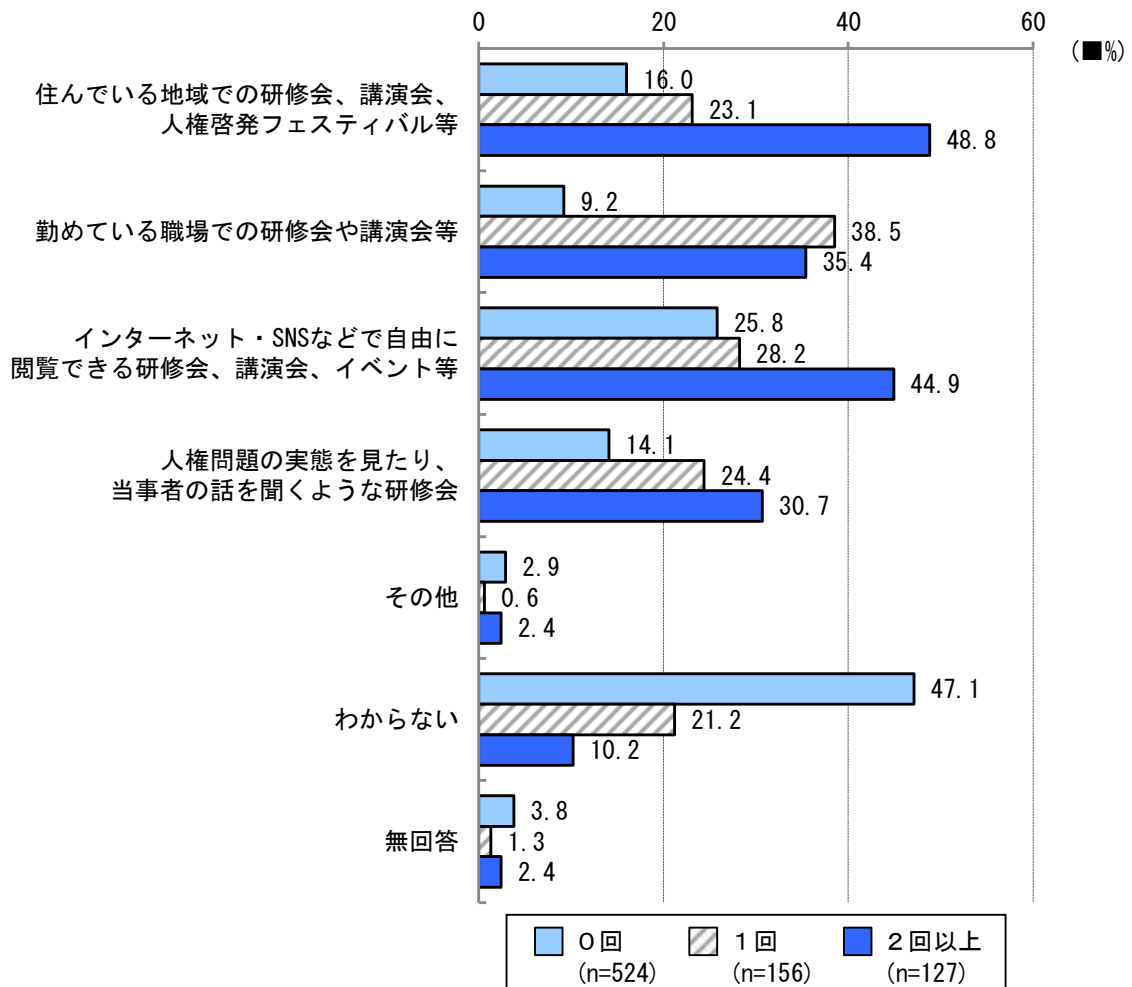


⑩ 障害のある人に対する合理的配慮の提供



問 23 参加したい研修会やイベント等

参加回数が『0回』の人は、参加したい研修会やイベント等が「わからない」がおよそ半数となっています。『2回以上』の人は、いずれの研修会やイベントでも参加したい割合が高くなってます。



問 24 人権問題について情報を得たり、学習するためによく利用するもの

参加回数が『2回以上』の人は、「町や府等の広報誌、冊子」や「新聞の記事・意見広告」「映画・DVD・ビデオ」が高くなっています。参加回数に関わらず、「インターネット・SNS」は高くなっています。

